

住友建機

適用範囲		型式	SH210LCD 5HR	SH240 5HR	SH330LC 3BHR	SH500LHD 5HR
仕様	最大高さ	mm	13,969	16,430	20,500	27,140
	ブーム及びアーム収納		2 段折れ	3 段折れ	3 段折れ	3 段折れ
ブーム及びアーム	基本ブーム	m	8.0	3.4	3.7	4.4
	第二ブーム	m	—	5.1	2.5	10.7
	第三ブーム	m	—	—	7.8	—
	第一アーム	m	4.7	2.3	2.6	2.8
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値		
安全装置	作業範囲規制装置	警報装置の仕様		警報型 自動停止	警報型 自動停止	警報型 自動停止
		警報鳴作業半径	mm	7,775	9,350	11,150
		警報鳴作業半径 (縦向)	mm	7,775	9,350	11,150
	ブーム降下 防止装置	ブームシリンダー		図 5-1 参照	図 5-2 参照	図 5-2 参照
		伸縮量	mm	4.0	4.0	4.0
		測定時間	分	5	5	5
	作業範囲図			図 5-3 参照	図 5-4 参照	図 5-5 参照

特定解体用機械

1. シリンダー伸縮量の測定

(1) 測定条件

- ① 水平堅固な平坦地で測定すること。
- ② シリンダー交換直後は、シリンダー内のエア抜き後に実施すること。
- ③ シリンダーは、ストロークエシドから 50mm 以上動かした状態であること。
- ④ 作動油の温度は 45℃～55℃で測定すること。

(2) 測定姿勢

- ① アタッチメント装着無し
- ② 測定姿勢は 2 段折れ、3 段折れの参考図の通りとする。

(3) 測定

- ① エンジン停止後、5 分間経過後の伸縮量を測定すること。
- ② ブームシリンダーの測定位置 A を測定する。

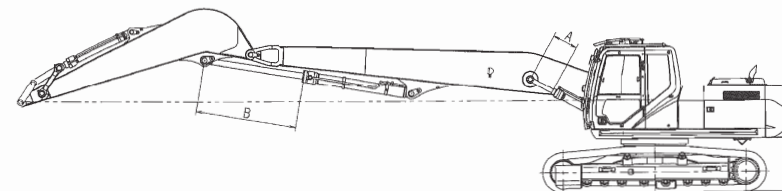


図 5-1 シリンダーの伸縮量測定姿勢 (2 段折れ)

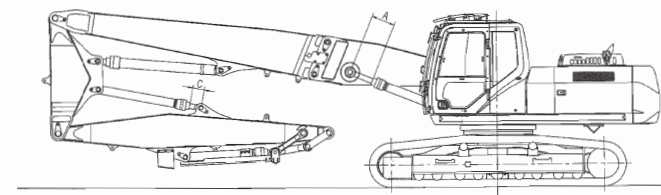


図 5-2 シリンダーの伸縮量測定姿勢 (3 段折れ)

2. 作業範囲制限装置の確認

(1) 確認方法

1) ブーム危険領域ランプ

- ① ブーム下げ操作を行い、作業可能範囲をこえるとブーム危険領域ランプが点灯する。
- ② この時、アームが押し出された状態だとブーム下げ操作が自動停止する。

2) アーム押し出し停止ブザー

- ① ブーム危険領域で、アームを押し出すとブザーが鳴り、ブーム下げおよびアーム押し出し操作が自動停止する。
- ② ブザー（断続音）が鳴り出したらブーム上げ操作を行うか、アームを最縮まで引き込み、作業可能範囲にすること。ブザー（断続音）が止まると安全に作業が出来る。

(2) 作業範囲図

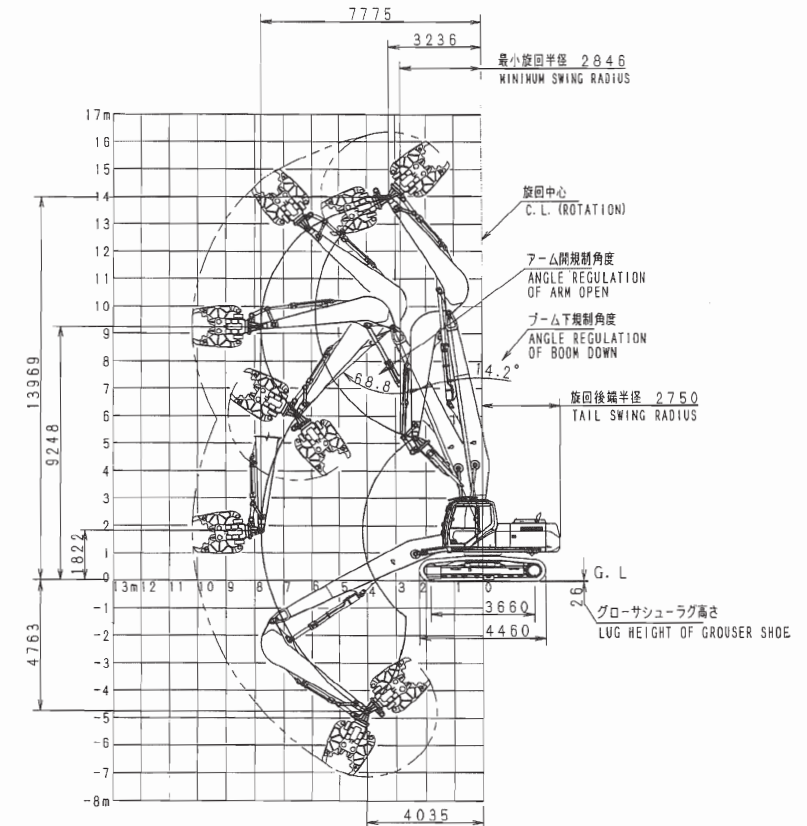


図 5-3 作業範囲制限装置の確認 SH210LCD-5HR

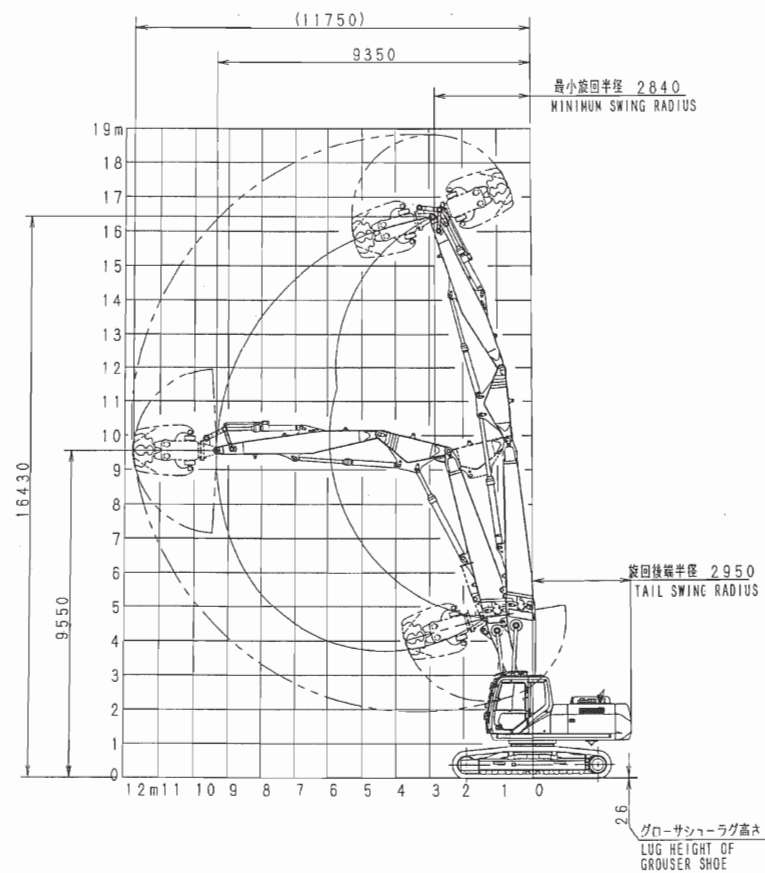


図 5-4 作業範囲制限装置の確認 SH240-5HR

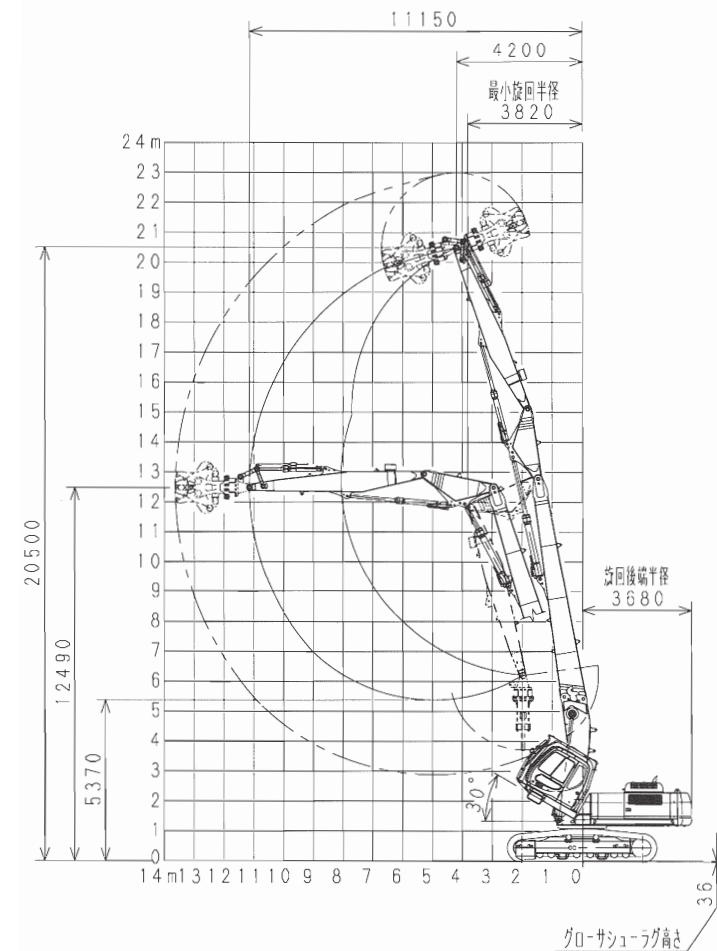


図 5-5 作業範囲制限装置の確認 SH330LC-3BHR

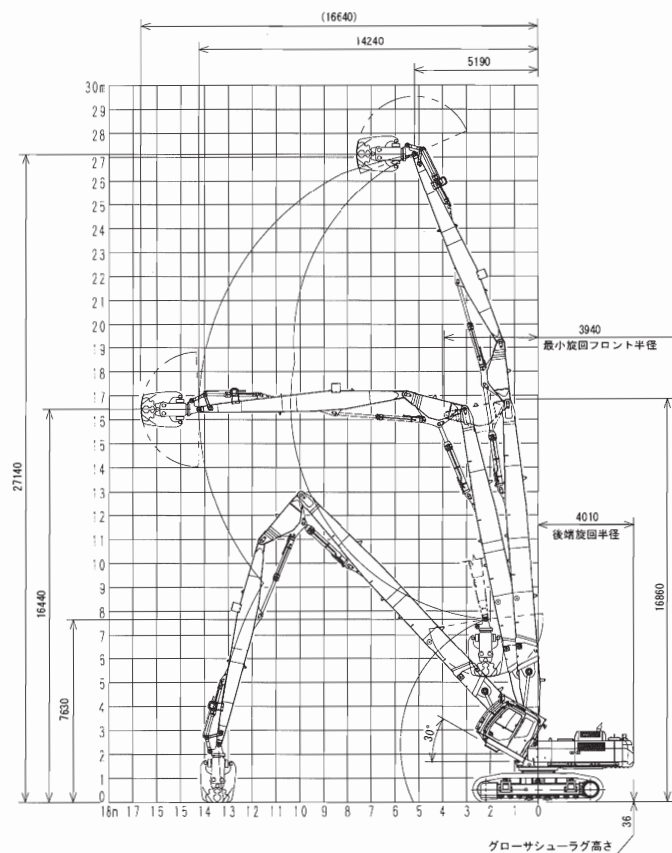


図 5-6 作業範囲制限装置の確認 SH500LHD-5HR